

十和田の火山活動解説資料（令和元年7月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1）
銀山監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図2）
火山性地震は少ない状態で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図3、図5）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（令和元年8月分）は令和元年9月9日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokujii.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

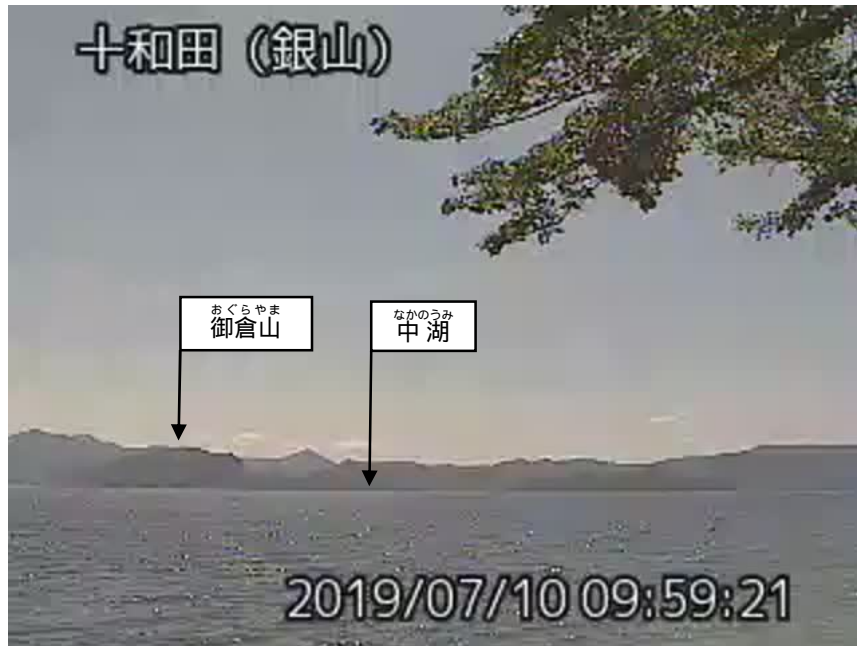


図1 十和田 中湖周辺の状況(7月10日)
 ・銀山監視カメラ(中湖の北西約6km)の映像です。

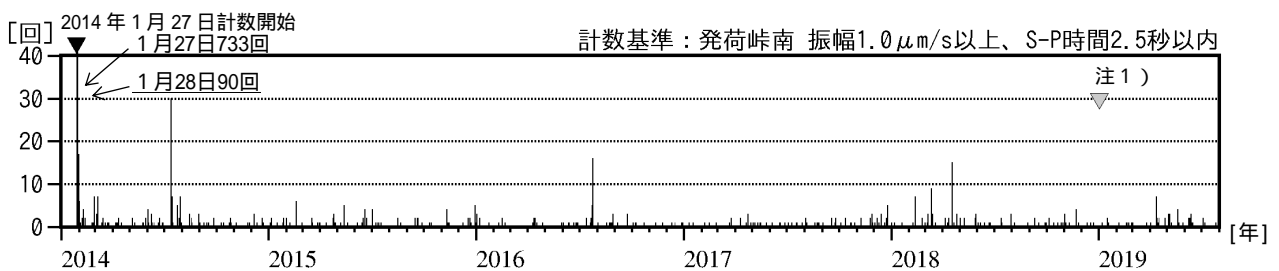


図2 十和田 日別地震回数(2014年1月~2019年7月)
 ・地震の計数基準観測点の変更は次のとおりです。
 計数開始 2014年1月27日~ 防災科学技術研究所小坂観測点
 注1) 2019年1月1日~ 発荷峠南観測点

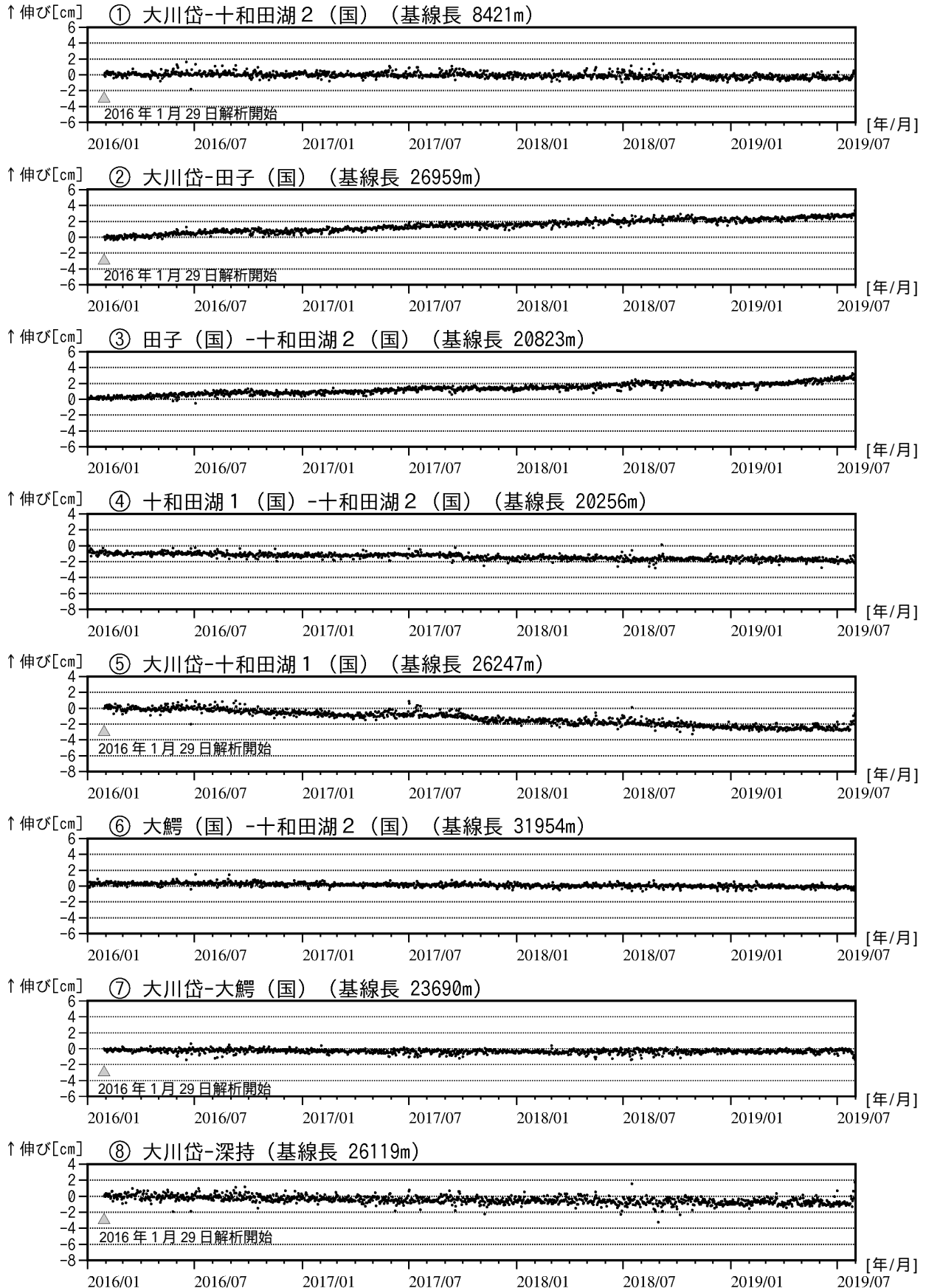


図3 十和田 GNSS 基線長変化図(2016年1月~2019年7月)

- ・空白部分は欠測を示します。
- ・ ~ は図5のGNSS基線 ~ に対応しています。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。

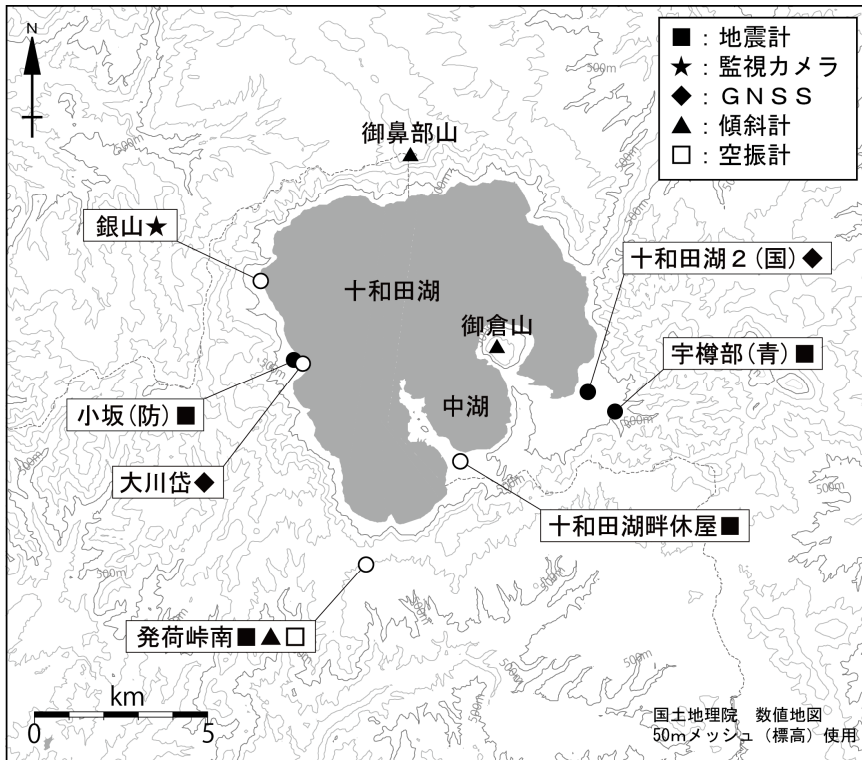


図4 十和田 観測点配置図

小さな白丸()は気象庁、小さな黒丸()は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国): 国土地理院 (防): 防災科学技術研究所 (青): 青森県

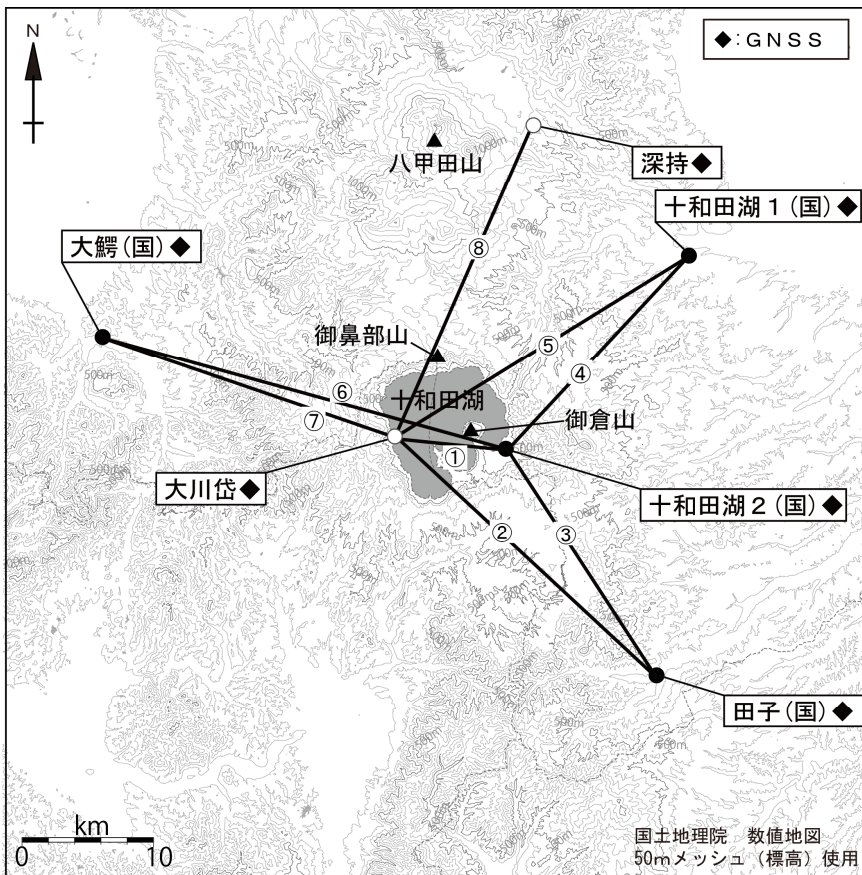


図5 十和田 GNSS 観測基線図

小さな白丸()は気象庁、小さな黒丸()は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国): 国土地理院